

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）  
令和七年四月十日発行（毎月一回十日発行）

定価 五〇〇円

第1003号

龍

跳

第八十一卷

5  
月号

高知  
龍跳書道会

北代碧山 書



景雲飛



十月五日帖

王羲之

十月五日羲之忽有感情  
兼深足下同不可至前得  
足下似行二書為慰故不適  
足下昨還如常身雖不得

十月五日羲之忽有感情／兼深足下同不可至前得／足下似二書為慰故不適／足下昨還如常身雖不得

十月五日、羲之忽ち感情の兼ねて深き有り、  
足下同に至る可からず、前に足下の行に似たる二書を得たり、慰と為すも、故より適わず、足下  
昨還り、常の如き耳ならん、旨問を得ずと雖も、遠く足下の書を得て、輒ち具問するを慰と為す、吾れ頃る胸中惡しく、食するを欲せず、  
積日勿々たり、五日来り少しく差ゆ、七日 王羲之白す、

十月五日帖

王羲之尺牘せきとく

王羲之の生きたのは六朝時代である。

中国では、唐代以降、明代頃まで王羲之の字を集めて碑を造ることが盛んに行なわれた。尺牘とは書簡、手紙で、もともと尺は長さの単位・牘は文字のことをするす木の札である。

すなわち長さ一尺の木簡をいう。



岡崎綠水書

疎影橫斜水清淺  
暗香浮動月黃昏

疎影橫斜水清淺  
暗香浮動月黃昏

綠水書

岩河里華臨

沙羅即峴山  
謬云形大地  
惟東吳偏山

沙羅即峴山  
謬云形大地  
惟東吳偏山

華臨

梅  
川  
桂  
龍  
書

滄波杳  
難期

滄波杳として期し難し  
さうはよう き がた

4月20日縮切

梅  
川  
桂  
龍  
書

吳  
洲  
好  
見  
月

吳洲  
好し月を見ば

5月20日締切



福  
原  
曉  
雲  
書

賀  
扉  
動  
清  
風

賀  
扉  
清  
風  
を  
動  
す

福  
原  
曉  
雲  
臨

忽有感情兼深  
情無涼

忽有感情兼深

大原桂園臨

此之未得者以志  
知家者希以有

小笠原廣峰書

東阡在何許寒食江頭路  
哀哉魏城君宿草荒新墓

廣峰書



江西澄翠書

萬醖香中賦日露  
五雲芝上護涼霞

澄翠書

西山極山臨

尚何半席之座尺之地  
洵其志哉且鄉里上

卷之四

王起郎輝呈祖父便  
第云自孝歸芳氏者

水田紅子

嚴江解衣敷衣礪日薄  
莫與趣勃然肅

氏原美泉

治轉以怪塵云岳陸  
露添流略舉大經以

大石千施

新保式示安也ゆ之  
知年之兄つ男あり

今井真理

兩姓之子孫異日相值者  
襄陽米 献元章記

岩河里華

指九倍咀芳葉八調  
治極精二德攬

広田秋桜

花叙萬常製美賢心悟也  
若凡不知善好美動麗祐

浜崎洋堂

丹楊好回國彦直河  
以清酌庶夢

別役美佐

衣食不充臣愚欲望聖  
德錄其舊勲矜其老

杉本美邦

取而收之乃情之  
安知之以情之

佐竹江月

条幅当選作品 福原 暁雲 選評

★天位

水田紅子君〓米芾臨、特徴をよく捉えて線質も佳。

氏原美泉君〓擬山園帖、筆をうまく繰り、達者です。

大石千施君〓集字聖教序、流れ良く筆が立ち、すばらしい。

今井真理君〓十七帖、まろやかな線にてリズムに乗る。

岩河里華君〓米芾の法帖名まで記載して、文字やや小粒。  
運筆は力強し。

★地位

広田秋桜君〓橘逸勢臨。大胆な運筆だが穂先を大切に  
使ってね。

浜崎洋堂君〓呼吸長く大らかに書して、慣れてくると  
遅速をつけてください。

別役美佐君〓顔真卿臨「祭姪」墨量豊潤、文字に大小を  
つけて、文字間をうまく使って下さい。

★人位

杉本美邦君〓薦季直表の雰囲気をよく捉えている。どん  
どん書き込み、筆力をつけてください

佐竹江月君〓墨量を多くと、筆圧の研究を。

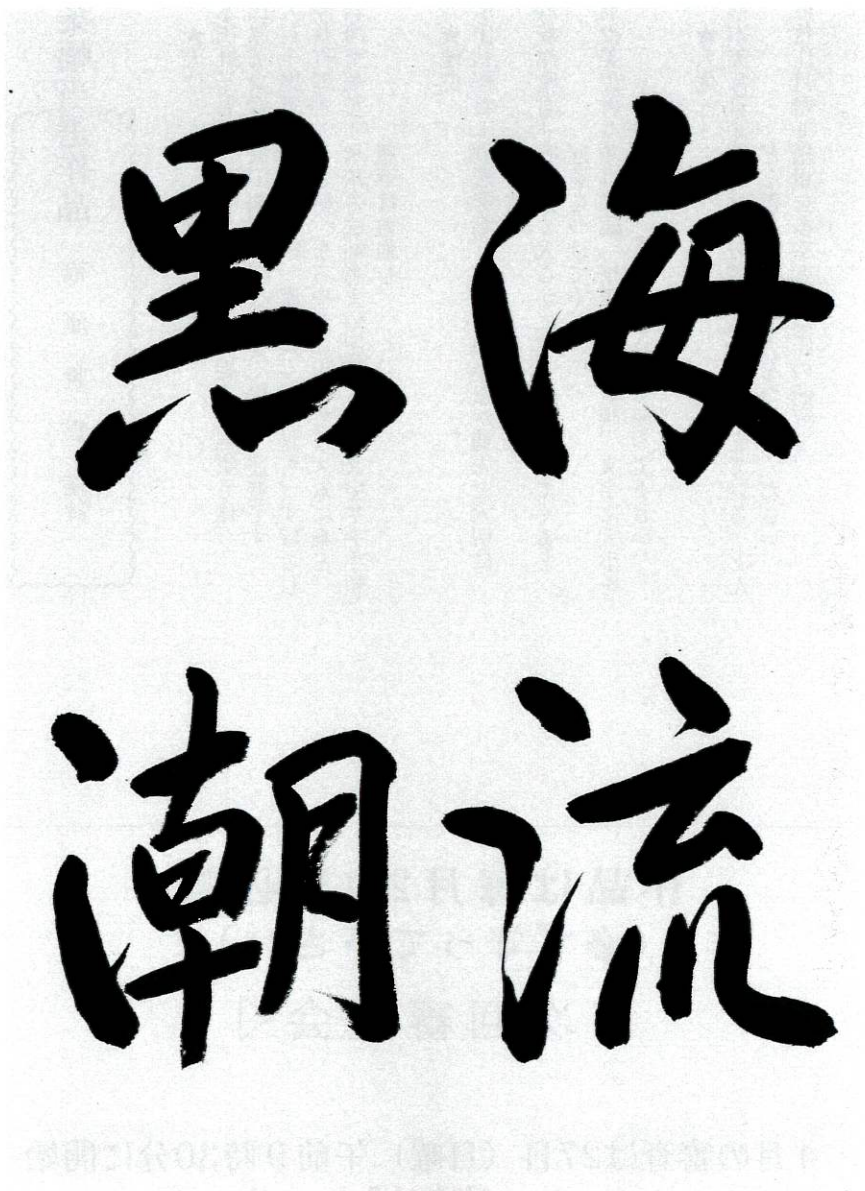
作品は毎月20日必着  
(必ず守ってください)

▷ 次回審査会 ◁

4月の審査は27日(日曜)午前9時30分に開始  
します。審査会場は**高知城ホール**です。

※審査会終了後、龍跳展下見会の予定です。



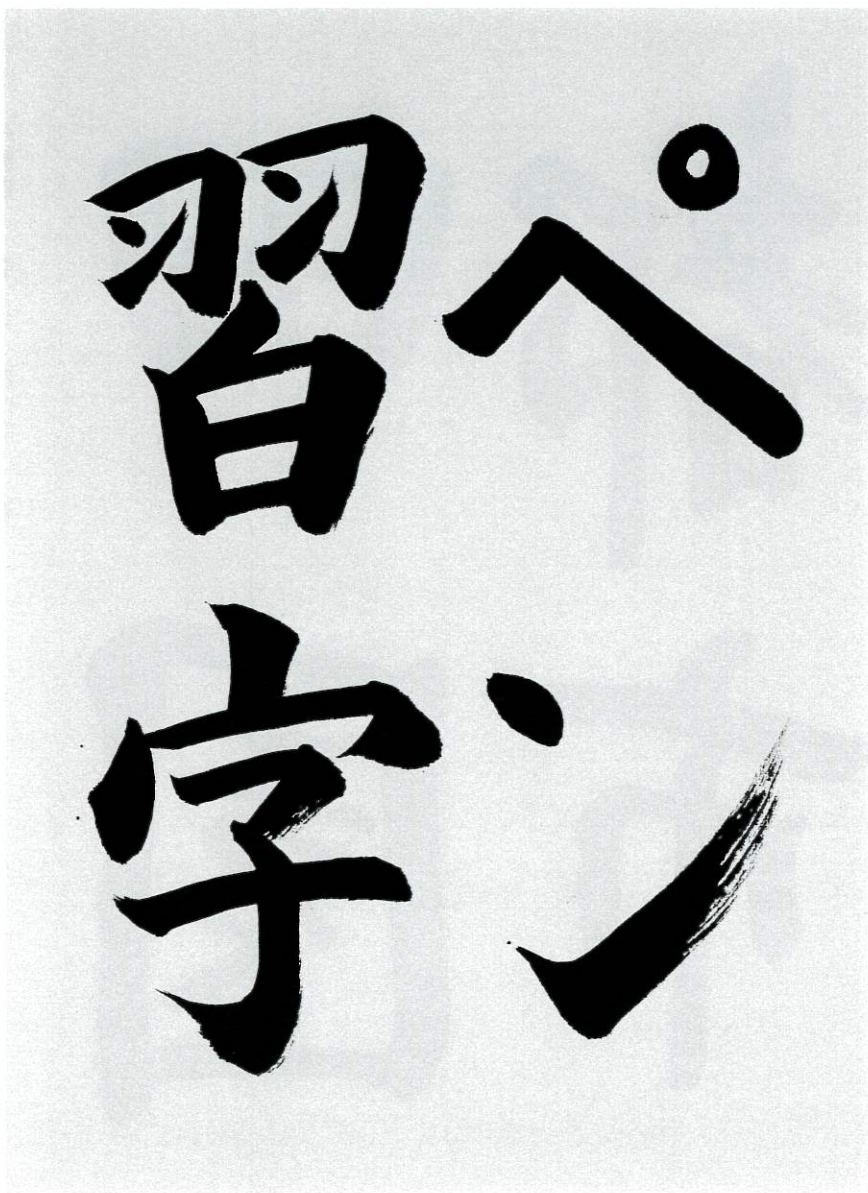


5月20日締切

中学一年課題  
廣末幽念書

田園都市

5月20日締切



5月20日縮切



五月の空

れタ  
グ

5月20日締切

小学三年課題

大原桂園書

人形

5月20日締切





5月20日縮切

小学一年・ようち・ほいく課題

大八木 洋 女 書

みち

5月20日締切









|     |  |   |   |   |   |   |   |
|-----|--|---|---|---|---|---|---|
| 学校名 |  | 井 | え | 話 | 乗 | お |   |
|     |  | さ |   | し | せ | い | 「 |
|     |  | ん | 夏 | か | た | で | こ |
| 四   |  | は | み | け | お | す | れ |
| 年   |  | 、 | か | ま | 客 | か | は |
| 級段  |  | 答 | ん | し | の | 。 | 、 |
| 氏名  |  | え | で | た | し | ほ | レ |
|     |  | ま | す | 。 | ん | り | モ |
|     |  | し | よ | 「 | し | ば | ン |
|     |  | た | 。 | い | が | た | の |
|     |  | 。 | 松 | い | 、 | で | に |

|     |    |    |    |    |    |    |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| 学校名 | て  | ユ  | ず  | け  | に  | 野  |
|     | いた | ー  | う  | たり | こう | ね  |
| 三年  | たの | の  | と  | と  | な  | ず  |
|     | で  | の  |    | じ  | ず  | み  |
| 級段  | した | 音  | と  | たり | いて | たち |
| 氏名  | た。 | につ | くべ | りし |    | は  |
|     |    | つ  | つ  | な  | 目  |    |
|     |    | つま | メ  | が  | を  | に  |
|     |    | れ  | ニ  | ら  | 開  | こ  |



|      |   |   |   |   |   |
|------|---|---|---|---|---|
| がっこう | う | た | 休 | じ | た |
|      | を | く | ま | く | ん |
| 二    | お | さ | せ | を | ぼ |
| ねん   | く | ん | て |   | ぼ |
| だ    | り | の |   | し | は |
| きゆう  | ま |   | た | ず |   |
| なまえ  | す | え | ね | か |   |
|      |   | い | に | に | 花 |
|      |   | よ |   |   | と |



小学二年課題 藤田桂苑 書

|      |   |   |   |   |
|------|---|---|---|---|
| がっこう |   |   |   |   |
|      | あ | お | う | お |
| 一    | さ | ひ | み | き |
| ねん   | の | さ | か | だ |
| き だ  |   | ま | ら | し |
| ゆう ん |   |   |   | た |
| なまえ  |   |   |   |   |
|      |   |   |   |   |
|      |   |   |   |   |
|      |   |   |   |   |

|                   |    |   |   |   |
|-------------------|----|---|---|---|
| がっこう              |    |   |   |   |
|                   |    |   |   |   |
| ほ<br>ねん           | の  | や | ち | す |
|                   | ぼ  | ま | か | ぐ |
| だ<br>き<br>ゆう<br>う | り  | へ | く |   |
| なまえ               | ま  |   | の |   |
|                   | し  |   |   |   |
|                   | た。 |   |   |   |
|                   |    |   |   |   |

## 書道関係日程(抜粋)

|                                             |                   |
|---------------------------------------------|-------------------|
| 第32回高知県美術家協会展<br>4月22日(火)～4月27日(日)          | かるぽーと第1・3室        |
| 第77回高知市展<br>5月24日(土)～6月8日(日)                | かるぽーと全室           |
| 第68回龍跳書道展<br>7月8日(火)～7月13日(日)               | 美術館県民ギャラリー        |
| 第29回高知県障害者美術展スピリットアート<br>10月3日(金)～10月13日(月) | 美術館第4展示室          |
| 第79回高知県展<br>10月4日(土)～10月19日(日)              | かるぽーと/美術館<br>同時開催 |
| 第76回こども県展<br>2月24日(火)～3月1日(日)               | 美術館県民ギャラリー        |

### 【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師 範 三千円

★準師範以下一般 二千元

★学 生 一千元

(注意 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。)

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

(申込先)ご希望の先生に要項を明記した文書で  
直接お申し込み下さい。

〒七八一七四二二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一一三〇一

高岡郡越知町越知甲二一一七一六

龍跳書道会 梅川桂龍



|                         |     |                         |     |                          |     |                         |     |
|-------------------------|-----|-------------------------|-----|--------------------------|-----|-------------------------|-----|
| 欲暮<br><small>白鳥</small> | 白日行 | 欲暮<br><small>容舟</small> | 白日行 | 欲暮<br><small>赤花</small>  | 白日行 | 欲暮<br><small>龍月</small> | 白日行 |
| 欲暮<br><small>東山</small> | 白日行 | 欲暮<br><small>由流</small> | 白日行 | 欲暮<br><small>智奈</small>  | 白日行 | 欲暮<br><small>手来</small> | 白日行 |
| 欲暮<br><small>冬遠</small> | 白日行 | 欲暮<br><small>ちか</small> | 白日行 | 欲暮<br><small>倫子</small>  | 白日行 | 欲暮<br><small>高橋</small> | 白日行 |
| 欲暮<br><small>里志</small> | 白日行 | 欲暮<br><small>千笑</small> | 白日行 | 欲暮<br><small>美和子</small> | 白日行 | 欲暮<br><small>未来</small> | 白日行 |

(一・二段目) 梅川桂龍 選評

皓月君 剛健な筆致迫力あり。

恵花君 軽快にして品位ある佳。

容舟君 沈着にして、氣力充実の感あり。

清園君 筆圧の変化があり線が強い。

喜泉君 ゆつたりとした大らかさを

感じる佳作。

花梢君 いつもながら味わい。深い

作です。

(二・三段目) 廣末幽念 選評

理奈君 堂々とした作、筆が伸びて

いる。

紅花君 力みなく良くまとめている。

幽雅君 線はよく伸び動きが大きい。

薫山君 手馴れた筆致で明るい作。

伸水君 良くまとめている。

(三・四段目) 野島桂山 選評

美草君 やさしく真面目な作品。

倫子君 ちつと墨付けすぎの感あり。

知加君 堅実な書きぶりに好感がも

てる。

久遠君 気負なく温和な作。

未来君 紙面いっぱいよくまとめた

した。

房 君 素直に書いています。

(四段目) 武内美仁 選評

美知子君 形良く伸びやかな線で美

しい。

千賀君 流れ円滑にて軽快な仕上が

り。

里恵君 新人ながら、堂々とした作。

字々の姿勢が素晴らしい。

白日介  
御夢

白田秀華

月也有  
嫩姬

沈月懷

襄陽米  
敲元

里華

天葉  
鮮

里華

乎益  
不然

美笑

原仁兄  
愛我

里華

月也有  
嫩姬

里華

赴感應  
身經

里華

月也有  
嫩姬

里華

少貫名  
州郡

里華

善涼之  
小同

里華

桂於  
去本

里華

此則隨  
之仁壽

里華

法家勢  
浮角

里華

春色濃  
於酒

里華

薄草嫵  
趣勃

里華

勇賢  
十帖

里華

船長  
諸公

里華

信而當  
謨其

里華

司州榮  
陽開

里華

(一・二段目) 前田秀華 選評

澄翠君 品位高く、明るい作。

皓月君 大胆な運筆で線に味がある。

里華君 凛として骨力あり。

花梢君 動きの大きさが快い。

美賀君 開閉をこなして迫力に富む。

雄山君 力強く躍動あふれる筆勢。

(二・三段目) 塚地桂峰 選評

理奈君 力強くリズム良い。

悠道君 動き大きく切れ味も良い。

幸子君 丁寧な書きぶりで好感がもてる。

仁陽君 力みなくいいねいな作。

薰山君 力強く堂々とした作。

(三・四段目) 西山極山 選評

倫子君 落ちつきのある作品。

隆光君 一画一画にいいねい書いている。

知加君 書譜の雰囲気を感じる。

美枝君 小粒ながら名前と共によくまとまっている。

美香君 墨色よく字々流れを感じる。

みさ君 大胆にかけ筆力を感じる。

がんばって。

(四段目) 岡林邦心 選評

千賀君 灌頂記の力強い作品です。

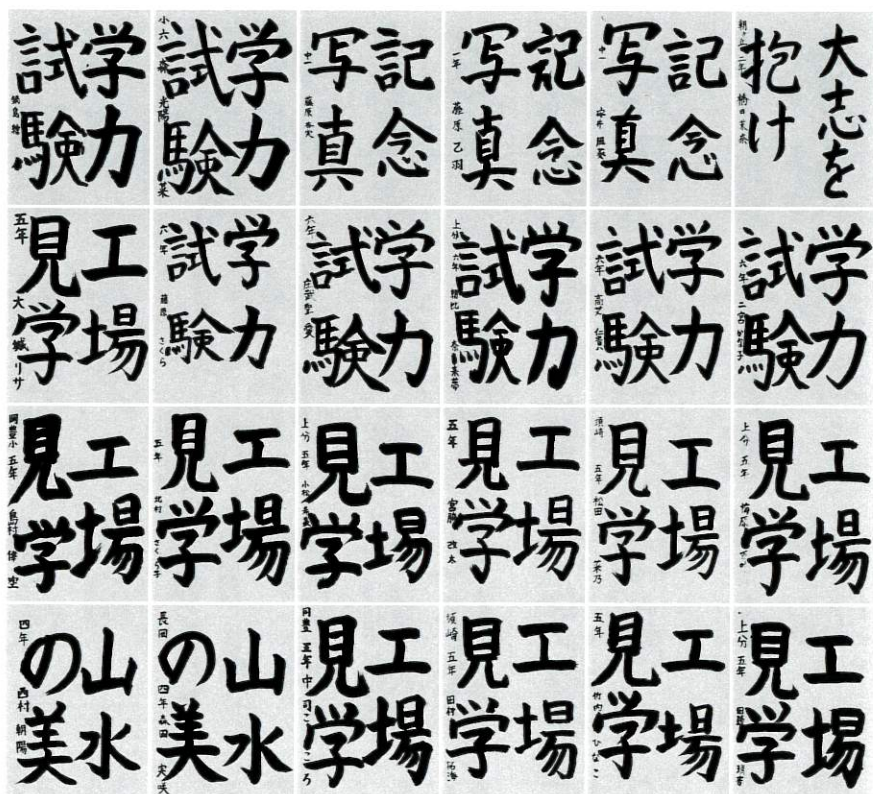
里恵君 宣示表をバランス良く丁寧

に書けて良い。

有紀君 鄭義下碑の流れがゆつたり

として良い。





(一段目) 中学部

大八木洋女 選評

葉奈君 伸びの有る線で書けています。

風葵君 終筆に少し心を込めて見て下さい。

乙羽君 線に力がありよく書けています。

杏実君 丁寧で力強い作品です。

(二・二段目) 小学六年

中平美峰 選評

陽菜君 のびのびとていねいに書けています。とつて

も上手。

綜 君 元気に書きました。

かな子君 ていねいに書けています。

仁貴君 落ちついて書けました。

来夢君 元氣よく書けました。もう少しゆっくり書いて

てみましょう。

聖愛君 上手に書けています。

さくら君 やや小さいがよく書けています。これから

も頑張ってください。

(二・三・四段目) 小学五年

佐々木港花 選評

リサ君 落ち着いて書いています。

百叶君 形ととのつています。

菜乃君 落ちついて形もとのつています。

改太君 元気に書いて下さい。

希美君 元氣いっぱいです。

さくら子君 形よく元氣です。

倅空君 元氣です。

璃音君 まじめに書いています。

陽南子君 形ととのつています。

拓海君 元気に書いて下さい。

こころ君 立派に書いています。

(四段目) 小学四年

奥堂皓月 選評

実咲君 美しく整ったよい作品です。

朝陽君 力強く堂々としている。



|                    |                    |             |             |             |             |
|--------------------|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 |
| 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 |
| 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 |
| 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 |
| 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 |
| 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 |
| 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 |
| 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 |
| 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 |
| 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>西門町<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 | 四年<br>小松 美水 |

(一・二段目) 小学四年  
蒼來君Ⅱゆつたりとして整っています。  
太緒君Ⅱのびやかによくまとまっています。  
美緒音君Ⅱ強い線で元気があります。  
湊 君Ⅱ伸びやかでしつかりした作品です。  
明利君Ⅱ一字一字ていねいに書けています。  
ほのか君Ⅱ明るく整った良い字です。  
(二・三段目) 小学三年 佐竹江月 選評  
太希君Ⅱ落ちついてていねいに書けました。  
香花君Ⅱのびのびと自然体で書けています。  
紗雪君Ⅱまとまりよく書けています。  
芳尚君Ⅱていねいに書けています。  
明希君Ⅱ堂々と力強く書けました。  
心遙君Ⅱのびのびと動きがあります。  
梨衣奈君Ⅱまじめに書けています。  
(三・四段目) 小学二年 別役美佐 選評  
涼 君Ⅱていねいに書けています。  
はるか君Ⅱ力強く書けています。  
いぶき君Ⅱのびのびと書けています。  
みのり君Ⅱ落ちついて書けています。  
昇汰君Ⅱ元氣よく書けています。  
もも君Ⅱ練習を続けて下さい。  
(四段目) 小学二年：ようちほいく 萩野羽花 選評  
のぞみ君Ⅱまっすぐな線で、ていねいに書けています。  
ゆま君Ⅱ字のかたちがととのつていて、バランスよく  
かけています。  
という君Ⅱげんきよくしつかりとかけています。  
こな君Ⅱていねいにかけています。  
あおい君Ⅱちからいっぱいかけています。

浦ノ内 矢野蒼真  
多ノ郷 森光陽菜

プラスチックごみは、きちんと回収すれば、それを原料として新しいプラスチックの製品に作りかえることができます。これをプラスチックのリサイクルといいます。

浦ノ内 矢野 蒼真

プラスチックごみは、きちんと回収すれば、それを原料として新しいプラスチックの製品に作りかえることができます。これをプラスチックのリサイクルといいます。

多ノ郷 森光陽菜

プラスチックごみは、きちんと回収すれば、それを原料として新しいプラスチックの製品に作りかえることができます。これをプラスチックのリサイクルといいます。

長岡 高芝仁貴

プラスチックごみは、きちんと回収すれば、それを原料として新しいプラスチックの製品に作りかえることができます。これをプラスチックのリサイクルといいます。

越知 大原 留心

大谷北 大木 柚杏  
多ノ郷 大城 リサ

プラスチックごみは、きちんと回収すれば、それを原料として新しいプラスチックの製品に作りかえることができます。これをプラスチックのリサイクルといいます。

大谷北 大木 柚杏

寝る時間になったので、ぼくは明かりを消した。エルダードが起きて、明かりをつけた。ぼくは、起き上がって明かりを消し、スイッチのそばから動かなかった。

多ノ郷 大城 リサ

寝る時間になったので、ぼくは明かりを消した。エルダードが起きて、明かりをつけた。ぼくは、起き上がって明かりを消し、スイッチのそばから動かなかった。

多ノ郷 大城 リサ

寝る時間になったので、ぼくは明かりを消した。エルダードが起きて、明かりをつけた。ぼくは、起き上がって明かりを消し、スイッチのそばから動かなかった。

多ノ郷 大城 リサ

長岡 北村さくら子  
岡豊 中司 こころ

言葉には、考えたり思いを伝えたりする働きがあります。昔から、言葉とわたしたちとの大切な付き合ひ方の一つでした。

長岡 北村さくら子

言葉には、考えたり思いを伝えたりする働きがあります。昔から、言葉とわたしたちとの大切な付き合ひ方の一つでした。

岡豊 中司 こころ

言葉には、考えたり思いを伝えたりする働きがあります。昔から、言葉とわたしたちとの大切な付き合ひ方の一つでした。

長岡 北村さくら子

言葉には、考えたり思いを伝えたりする働きがあります。昔から、言葉とわたしたちとの大切な付き合ひ方の一つでした。

小高坂 川西 康介

浦ノ内 中平 滯里  
吾桑 吉門 蒼馬

言葉には、考えたり思いを伝えたりする働きがあります。昔から、言葉とわたしたちとの大切な付き合ひ方の一つでした。

浦ノ内 中平 滯里

言葉には、考えたり思いを伝えたりする働きがあります。昔から、言葉とわたしたちとの大切な付き合ひ方の一つでした。

吾桑 吉門 蒼馬

言葉には、考えたり思いを伝えたりする働きがあります。昔から、言葉とわたしたちとの大切な付き合ひ方の一つでした。

長岡 西内 明利

言葉には、考えたり思いを伝えたりする働きがあります。昔から、言葉とわたしたちとの大切な付き合ひ方の一つでした。

浦ノ内 西内 明利



須崎 毛利 香花  
浦ノ内 池田 理人

ウィルソンは、はたらきありの体の仕組みを、研究してみました。ありは、おしりのところからとくべつのえきを出すことが分かりました。

ウィルソンは、はたらきありの体の仕組みを、研究してみました。ありは、おしりのところからとくべつのえきを出すことが分かりました。

ウィルソンは、はたらきありの体の仕組みを、研究してみました。ありは、おしりのところからとくべつのえきを出すことが分かりました。

ウィルソンは、はたらきありの体の仕組みを、研究してみました。ありは、おしりのところからとくべつのえきを出すことが分かりました。

長岡 竹内伽菜心  
久礼 黒原 小春

すさき 金堂 涼  
上分 吉村はるか

中国の北の方、モングールには、広い草原が広がって、ひつじや牛や馬などをかっけて、くらしている。

中国の北の方、モングールには、広い草原が広がって、ひつじや牛や馬などをかっけて、くらしていた。

中国の北の方、モングールには、広い草原が広がって、ひつじや牛や馬などをかっけて、くらしていた。

中国の北の方、モングールには、広い草原が広がって、ひつじや牛や馬などをかっけて、くらしていた。

うらの内 徳永隼斗  
おこう 中司みのり

長岡 安井 颯  
あそう まつさかのぞみ

中国の北の方、モングールには、広い草原が広がって、ひつじや牛や馬などをかっけて、くらしていた。

あきには、びっしりたねが、まあのりでした。またあるいたねでした。

あきには、びっしりたねが、まあのりでした。またあるいたねでした。

あきには、びっしりたねが、まあのりでした。またあるいたねでした。

多ノノう さか本みさき  
ふぞく えがしらこう

うらの内 みや田 い音  
うらの内 寺内 かのん

あきには、びっしりたねが、まあのりでした。またあるいたねでした。

あきには、びっしりたねが、まあのりでした。またあるいたねでした。

あきには、びっしりたねが、まあのりでした。またあるいたねでした。

あきには、びっしりたねが、まあのりでした。またあるいたねでした。

かみぶん なかじまゆいと  
すさき こんどう こな





出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

|                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>★新規</p> <p>五級編入<br/>東洋 富山里恵<br/>東洋 太田有紀</p>                                                                                                                                                                                                                           | <p>随意</p> <p>審査 前田 秀華</p> <p>★師範</p> <p>江西澄翠<br/>奥堂皓月<br/>岩河里華<br/>西山極山<br/>大八木洋女<br/>中平幸仙<br/>水田紅子<br/>中原桂園<br/>大原美峰<br/>野中恵花<br/>深瀬緑堂<br/>小笠原康峰<br/>弘田賀峰<br/>戸田孝北<br/>岡林邦心<br/>河村容舟<br/>矢野峰臣</p> <p>★準師範</p> <p>大崎花梢<br/>大野美賀<br/>岡田雄山</p>                    |
| <p>堅田清園<br/>西森令泉<br/>池 芳春<br/>別役美佐<br/>西内仁子<br/>大平圭子<br/>森光望春<br/>高橋桜芳<br/>小野山美喜<br/>田中恵風<br/>山西春草<br/>吉田深美<br/>平井桂草<br/>山本恵歩<br/>桑原智子<br/>山村百合<br/>西村芳香<br/>窪田碧泉<br/>鎌倉春葉<br/>田村眉州<br/>高橋朱鳥<br/>藤原紅鳳<br/>坂本碧香<br/>橋本祝子<br/>北村桂雄<br/>丸田宏子<br/>松浦明子<br/>横山桂華<br/>松本世津</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| <p>審査 塚地 桂峰</p> <p>★六段</p> <p>浪上理奈<br/>伊吹悠奈<br/>下元玉泉<br/>岡村妙慧<br/>岩村 祥<br/>大井 淳<br/>岩谷紅花</p>                                                                                                                                                                             | <p>★五段</p> <p>濱田幸子<br/>笠原多嘉<br/>岡林 翠<br/>鈴木輝代<br/>岡本美水</p> <p>★四段</p> <p>西岡仁陽<br/>岡本薫山<br/>濱田順子<br/>中澤英子<br/>西森啓助<br/>濱 恵子<br/>杉本美邦<br/>山崎隆志</p> <p>審査 西山 極山</p> <p>★三段</p> <p>坪内倫子</p>                                                                         |
| <p>★二段</p> <p>林 隆光<br/>金子知加<br/>森澤美佑貴<br/>川下久遠<br/>西村百花</p>                                                                                                                                                                                                              | <p>★初段</p> <p>松坂美枝<br/>市川美香<br/>川内みさ<br/>濱田美恵子<br/>前田伸枝<br/>川口虎之介<br/>和田恵美<br/>藤原勝子<br/>西尾明美<br/>大原紀美子<br/>山本 房<br/>掛水勝恵</p> <p>★一級</p> <p>岡林 邦心</p> <p>審査 藤田志津<br/>尾立千賀<br/>小松悦枝<br/>川崎美知津<br/>芝 沙織</p>                                                        |
| <p>★五級</p> <p>西内俊二</p>                                                                                                                                                                                                                                                   | <p>第98回毛筆成績</p> <p>○印は昇級</p>                                                                                                                                                                                                                                    |
| <p>★新規</p> <p>六級編入<br/>富山里恵<br/>太田有紀</p>                                                                                                                                                                                                                                 | <p>★特待生</p> <p>二年</p> <p>審査 大八木洋女</p> <p>★特待生</p> <p>一年</p> <p>朝ヶ丘 橋田茉奈</p> <p>★九段</p> <p>多ノ郷 森光陽菜<br/>鍋島 綜</p> <p>★九段</p> <p>長岡 二宮嘉奈子<br/>長岡 高芝仁貴<br/>上分 朝比奈来夢</p> <p>★三段</p> <p>仁淀川 藤原杏実</p>                                                                  |
| <p>★新規</p> <p>四級編入<br/>別府 藤原さくら</p>                                                                                                                                                                                                                                      | <p>毛筆五年</p> <p>審査 佐々木港花</p> <p>★九段</p> <p>多ノ郷 大城リサ<br/>上分 梅原百叶<br/>須崎 松田菜乃</p> <p>★八段</p> <p>長岡 宮脇改太<br/>上分 小松希美<br/>池川 鶴井香月<br/>須崎 谷口桜心</p> <p>★七段</p> <p>長岡北村さくら子<br/>岡豊 島村倅空<br/>多ノ郷 橋田天牙</p> <p>★六段</p> <p>上分 田邊璃音<br/>長岡 竹内陽南子<br/>須崎 柳村拓海<br/>上分 柳本稀衣</p> |





低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切つて下さい。  
★臨書は出典名を記入のこと。

|                                                       |  |                                                                                                                                         |  |                                                        |  |                                                                                 |  |                                                                      |  |
|-------------------------------------------------------|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------------------------------------------------------|--|---------------------------------------------------------------------------------|--|----------------------------------------------------------------------|--|
| <p>★七段</p> <p>浦ノ内 森田 葵<br/>越知 片岡 杏璃<br/>多ノ郷 橋田 天沔</p> |  | <p>★八段</p> <p>長岡 北村 さくら子<br/>長岡 宮脇 改太<br/>久礼 森岡 虹<br/>浦ノ内 松山 翔<br/>須崎 谷口 桜心<br/>上分 田邊 璃音<br/>長岡 竹内 陽南音<br/>浦ノ内 美島 希花<br/>久礼 窪田 美優</p>   |  | <p>★九段</p> <p>須崎 松田 菜乃<br/>上分 小松 希美</p>                |  | <p>★特待生</p> <p>多ノ郷 大城 リサ<br/>多ノ郷 松浦 結葉<br/>上分 梅原 百叶</p>                         |  | <p>硬筆五年</p> <p>審査 江西 澄翠</p>                                          |  |
| <p>★初段</p> <p>吾桑 堅田 有咲</p>                            |  | <p>★二段</p> <p>吾桑 高橋 芽生奈<br/>藤沢 駒崎 信慈</p>                                                                                                |  | <p>★三段</p> <p>浦ノ内 中田 瑚音</p>                            |  | <p>★四段</p> <p>別府 後藤 樹</p>                                                       |  | <p>★六段</p> <p>上ノ加江 政岡 桃加<br/>浦ノ内 山本 彩喜<br/>須崎 田村 拓海<br/>吾桑 梅原 蒼葉</p> |  |
| <p>★五段</p> <p>浦ノ内 中平 澤里<br/>久礼 黒原 小夏<br/>越知 西森 優奈</p> |  | <p>★初段</p> <p>須崎 金堂 利李<br/>吾桑 高橋 蒼來<br/>久礼 津野 聖佳<br/>越知 薦田 コモモ<br/>吾桑 松坂 美緒音<br/>夜須 米澤 陽翔<br/>佐古 清藤 蘭<br/>田村 健悟</p>                     |  | <p>★二段</p> <p>小高坂 川西 康介</p>                            |  | <p>★七段</p> <p>夜須 西村 朝陽</p>                                                      |  | <p>硬筆四年</p> <p>審査 森本 寿山</p>                                          |  |
| <p>★新規</p> <p>上分 九級編入<br/>赤崎 南海</p>                   |  | <p>★初段</p> <p>久礼 西村 はる<br/>久礼 堀田 瑛太<br/>奈路 植野 新<br/>上分 中山 結愛</p>                                                                        |  | <p>★二段</p> <p>池川 片岡 亜李紗<br/>池川 北村 日和<br/>越知 大原 穂乃花</p> |  | <p>★三段</p> <p>長岡 西内 明利<br/>大谷 北 小笠 陽智<br/>長岡 大木 原湊<br/>上分 橋田 陸<br/>吾桑 笹岡 蒼馬</p> |  | <p>★四段</p> <p>吾桑 吉門 蒼馬<br/>馬路 木下 歌乃<br/>吾桑 宮崎 穂花<br/>久礼 笹岡 玲斗</p>    |  |
| <p>★三段</p> <p>上ノ加江 片山 ひまり<br/>久礼 日林 ゆあ</p>            |  | <p>★四段</p> <p>長岡 竹内 伽菜心<br/>岡豊 鳥村 心遙<br/>多ノ郷 太田 朋希<br/>長岡 宮脇 治太<br/>多ノ郷 光梨 衣奈<br/>越知 藤崎 華乃<br/>上分 梅原 未來<br/>浦ノ内 山本 瑞貴<br/>多ノ郷 坂本 大和</p> |  | <p>★五段</p> <p>浦ノ内 池田 理人<br/>浦ノ内 藤田 彩葉<br/>須南 西村 太希</p> |  | <p>★六段</p> <p>須崎 毛利 香花<br/>須崎 田村 紗雪</p>                                         |  | <p>硬筆三年</p> <p>審査 市原 處艸</p>                                          |  |

(出品票)

のり代

7年 月 幅  
5 条

氏

名

臨書は出典名

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙  
書道用具萬般乞来店

(株) 山 斎

高知市南宝永町14-18

TEL (代) (882) 1394番

夜間・TEL (882) 1392番

|                              |                                    |                           |                           |                                      |                                                             |                                                                 |                                                     |                                                    |                                                            |                                                            |
|------------------------------|------------------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 須崎<br>★五段<br>金堂 涼            | 審査 小川 理香                           | こうひつ二年                    | 久礼 細木龍生                   | ★新規<br>九級編入<br>別府 藤原すみれ              | ★新規<br>越知 ○寺岡 織                                             | ★九級<br>浦ノ内 澤村郁葉<br>森田海音                                         | ★初段<br>長岡 浦ノ内 森田海音                                  | ★初段<br>夜須 白石一華<br>夜須 白石一華<br>夜須 白石一華               | ★二級<br>久礼 藤原小春<br>池川 藤崎菜央<br>長岡 猪野光騎                       | ★二級<br>上ノ加 松山まりん<br>上ノ加 吉原綾人<br>吾桑 長山優奈<br>久礼 蔵下夏愛         |
| 奈路 吾桑<br>長岡金堂こうすけ<br>鈴木 植野 葵 | 久礼 上上 政岡そうし<br>上上 木村ひらと<br>久礼 岩瀬 涉 | ★四段<br>岡豊 小林なほ<br>久礼 島村昇海 | ★初段<br>久礼 小林なほ<br>久礼 島村昇海 | ★二級<br>久礼 伊藤日向<br>久礼 下谷琴春<br>久礼 政岡ゆみ | ★二級<br>岡豊 中司みのり<br>長岡 安井 颯<br>池川 片岡紗雪<br>池川 北村心暖<br>池川 上村心晴 | ★二級<br>浦ノ内 徳永隼斗<br>浦ノ内 はし田一か<br>上分 山岡瑞季<br>久礼 黒原りか<br>上分 中じまあやと | ★四段<br>上分 吉村はるか<br>吾桑 高橋依吹<br>多ノ郷 橋田かほ<br>多ノ郷 森光連太郎 | ★三段<br>浦ノ内 徳永隼斗<br>上分 山岡瑞季<br>久礼 黒原りか<br>上分 中じまあやと | ★二級<br>上ノ加 大内ゆずの<br>★三級<br>久礼 加茂みやび<br>久礼 近藤みのり<br>吾桑 堅田彩乃 | ★二級<br>上ノ加 大内ゆずの<br>★三級<br>久礼 加茂みやび<br>久礼 近藤みのり<br>吾桑 堅田彩乃 |
| 多ノ郷 坂本美咲                     | ★三段<br>吾桑 松坂望未<br>吾桑 梅原由未          | ★四段<br>審査 石川 美水           | ★四段<br>久礼 松坂望未<br>久礼 梅原由未 | ★七級<br>長岡 ○大塚もも                      | ★七級<br>城東 ○丸山颯土<br>馬路 ○木下魁人                                 | ★五級<br>大谷北○倉持百花<br>城東 ○丸山颯土<br>馬路 ○木下魁人                         | ★五級<br>長岡 ○村上こゆ<br>吾桑 宮崎陽香                          | ★四級<br>長岡 ○村上こゆ<br>吾桑 宮崎陽香                         | ★四級<br>久礼 加茂みやび<br>久礼 近藤みのり<br>吾桑 堅田彩乃                     | ★二級<br>上ノ加 大内ゆずの<br>★三級<br>久礼 加茂みやび<br>久礼 近藤みのり<br>吾桑 堅田彩乃 |
| 岡豊○三谷とうい                     | ★九級<br>上分 ○橋田果歩                    | ★八級<br>岡豊 ○おぎかお           | ★八級<br>上分 ○橋田果歩           | ★五級<br>久礼 奈路かなえ                      | ★五級<br>高岡 隅田しゅう<br>久礼 隅田しゅう                                 | ★二級<br>佐川 ○井上めい                                                 | ★一級<br>浦ノ内 寺内かのん<br>久礼 森岡 紅                         | ★初段<br>浦ノ内 寺内かのん<br>久礼 森岡 紅                        | ★二級<br>浦ノ内 江頭 航<br>浦ノ内 宮田い音<br>浦ノ内 中平湧大                    | ★二級<br>浦ノ内 吉岡まひろ                                           |
| ★八級<br>おひさま<br>もりみつるな        | ★八級<br>おひさま<br>もりみつるな              | ★八級<br>おひさま<br>もりみつるな     | ★八級<br>おひさま<br>もりみつるな     | ★七級<br>岡豊 ○まつぎあおい<br>○森光莉菜           | ★七級<br>須崎 こんどうこな<br>ふたば 後藤和葉                                | ★初段<br>須崎 こんどうこな<br>ふたば 後藤和葉                                    | ★二級<br>上分 なかじまゆいと                                   | ★二級<br>審査 石川 美水                                    | ★初段<br>久礼 細木しょうき<br>別府 藤原みずき<br>十級編入                       | ★新規<br>久礼 松山まりん<br>上ノ加 吉原綾人<br>吾桑 長山優奈<br>久礼 蔵下夏愛          |

中国文房四宝  
国産書道用品  
久保田号銘筆

有限会社 湖筆堂

〒780-0818 高知市宝永町3-3  
TEL (088) 882-1454  
FAX (088) 884-7413

|                |  |
|----------------|--|
| のり代            |  |
| 7年<br>5月<br>規定 |  |
| 地<br>名         |  |
| 氏<br>名         |  |
| 段<br>級         |  |



戸田孝北氏



小笠原廣峰氏

玉書過箕山齋同  
曾笠原甫島

この度は、師範に認定していただきありがとうございます。  
これも岡本志峰先生の懇切丁寧なご指導と教室の先輩方のお陰だと感謝しております。  
これからも書に精進していきたいと思っておりますので、今後ともご指導よろしくお願いいたします。

君自故郷來應知故郷事  
來月綺窓前寒梅著花來

この度は師範の認定をいただき誠にありがとうございます。  
森本先生の教室に通い始めて四年、気に入った古典を自分のベースで書かせていただき、妥協無くご指導頂いたお陰だと深く感謝しております。  
まだまだ未熟ですので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

|                |  |
|----------------|--|
| のり代            |  |
| 7年<br>5月<br>随意 |  |
| 臨は出典名          |  |
| 氏<br>名         |  |
| 段<br>級         |  |





坂 本 碧 香 氏



今 井 真 理 氏

この度は準師範に認定して頂き、ありがとうございます。  
ここまでやつてこられましたのも、一から根気強く熱心にご指導くださった森本先生を始め、都度適切な評をくださった諸先生方、いつも温かく励ましてくれた教室の皆様のお陰と、心より感謝申し上げます。

まだまだ未熟でございます。これからもご指導宜しくお願いいたします。

草暖雲昏萬里春宮  
花拂面送行人

この度は、準師範の認定を頂き有難うございました。  
長い間指導頂き、心より感謝申し上げます。やつとたどりつきまして、本当に嬉しく思います。この先  
そう長くはないと思いますが（年ですのう）氣力が続くかぎり書きたいと思っています。  
今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

草暖雲昏萬里春宮  
花拂面送行人

|                |  |
|----------------|--|
| のり代            |  |
| 7年<br>5月<br>毛筆 |  |
| 校名             |  |
| 学年             |  |
| 氏名             |  |
| 段級             |  |

|                |  |
|----------------|--|
| のり代            |  |
| 7年<br>5月<br>硬筆 |  |
| 校名             |  |
| 氏名             |  |
| 段級             |  |



松本世津氏

玉書過蕉山齋同曾  
空齋甫鳴諧和

この度は、準師範に認定して頂き、ありがとうございました。  
これもひとえに、小川先生の丁寧で熱心なご指導や教室の皆様の温かい励ましのお陰だと、心より感謝しております。  
まだまだ、未熟ですので、これからも努力を積み重ねてまいります。  
今後とも、ご指導くださいますように、よろしくお願いいたします。



## 毛筆・硬筆の部



長岡小学校 六年

押岡 風佳

今回は、特待生にしていたありがとうございます。年長から始めた硬筆、一年生から始めた毛筆、どちらも特待生になることを目標に頑張ってきました。文字の大きさを揃えることやへんとつくりのバランスを考えながら書くことが難しかったです。これからも、ここで学んだことを授業や生活に活かしていきたいです。

## 硬筆の部



久礼小学校 六年

濱田 奏

この度は特待生にえらんでいただきありがとうございました。私は一年の時からはじめ、ここまで努力してきてよかったとあらためて感じます。これからもきれいな字で勉強をやっていきたいと思っています。



上分小学校 五年

梅原 百叶

この度は特待生に選んでいただき、ありがとうございます。私は保育園の年長の時から硬筆・毛筆を始め今回、硬筆が特待生になりました。とてもうれしく思います。親と石川先生に感謝したいなと思います。

でも、毛筆は特待生ではないので、これからも努力して字をきれいに書いていきたいです。



多ノ郷小学校 五年

大城 里サ

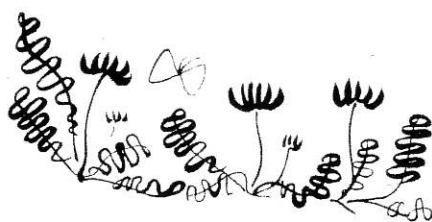
この度は、特待生に選んでいただきありがとうございます。私は保育園の年長から硬筆を始めました。特待生を目標に、頑張ってきました。やめたい時もありましたが、今となっては続けてよかったなと思います。これからも字をていねいに書くことを心がけていきたいです。硬筆教室まで、いつも送迎してくれた家族に感謝しています。





多ノ郷小学校 五年  
松 浦 結 菜

今回は、特待生に選んでいただきありがとうございます。  
私には、お姉ちゃんとお兄ちゃんがいて、どちらも特待生になっ  
ていたの、私もまけないぞ”という気持ちでがんばりました。  
だから特待生になれたときは、とてもうれしかったです。それか  
ら、いつもこうひつ教室に送り迎えしてくれた母に感謝していま  
す。  
これからも、ほめられるような字を書き続けたいです。



## 書を何で書くか

書を手で書く人、口で書く人、目で書く人、頭で書く人、腕で書く人、それから面の皮で書く人、などさまざまである。

手で書くのはあたり前のことで、一点一画に注意する。間架結構に意匠を練る、執筆用筆に苦心惨胆する。これ皆手で書く人のことである。

人の書をむやみに罵倒したり、くすぐりたいばかりにほめたりするのは口で書く人である。古名家の書に対してのものかどうか。これは三尺の童子でもわかる筈である。しかるにこの単純な理を解せず、或は私慾のために、或は恍惚としてこれを眺めるが、俗書に對しては何ともいわず、心の中でチャンと見わけてしまうのが、目で書く人

である。書体の如何を問わず、文の長短を論ぜず、無雜作に揮毫してしかも全幅の調和に一点の難なきもの、これは頭で書く人でなければ出来ないことである。拙なるも可、巧なるも可、胸次三斗の墨をそそいで管城（筆）を運らすもの、これは腹で書く人である。衆人環座の裡、馬鹿げたるものを平気で書ける人、これは面の皮で書くのである。犬養木堂翁が書を面の皮の芸であるといったのは、よき意味の方だけを考えたのであろう。悪い方の面の皮が世に横行していることを知らなかつたとすれば、翁の一代は仕合わせであつたともいえよう。

一 子雀 記 一

龍跳創立50周年特別号より

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

龍跳誌道会 振替口座番号

01690-3-31925  
電話（〇八八九）三五〇九七一番

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話（〇八八）八六五―八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話（〇八八九）二九―二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話（〇八八九）四二―三〇六七番

・送本についての連絡先

（冊数の相違等については当方へご連絡下さい。）

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話（〇八八九）四七―〇七二一番

龍跳誌の6月号からのリニューアルについて

3月23日、総務会が開催され、令和6年決算、令和7年事業計画が協議されました。

決算は、大変厳しく会員の減少に伴う大きな収入不足となっています。この対応策として、龍跳誌のリニューアルを行い、経費の削減を図ることとなりました。

リニューアルは、参考手本の大きさを半分に縮小させると共に、数ページ省略し、全体のページ数を減少させるものです。

手本は小さくなりますが、内容のレベルは現状をできるだけ維持するよう心掛けました。

実施の時期は6月号からです。

何卒、ご理解・協力をお願い申し上げます。

又、龍跳展、新年試筆、昇段級試験等にも参加者が少なくなっています。7月の龍跳展には、1年の勉強の発表会として、ぜひ全員の方のご参加をお願いします。



# 月例競書課題

| 部<br>別 | 締切日   |       |
|--------|-------|-------|
|        | 五月二十日 | 六月二十日 |
| 一般条幅   | 任意    | 任意    |
| 半紙規定   | 呉洲好見月 | 千里幸相思 |
| 半紙随意   | 任意    | 任意    |
| 中学三年   | 海流黒潮  | 港の風景  |
| 二年     |       |       |
| 一年     | 田園都市  | 学校放送  |
| 小学六年   | ペン習字  | 池の木立  |
| 五年     | 五月の空  | 大きな船  |
| 四年     | 夕ぐれ   | 魚つり   |
| 三年     | 人形    | 安全    |
| 二年     | あゆ    | ろば    |
| 一年     | みち    | たこ    |
| 保<br>育 |       |       |

## 会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 : 半年分 3,000円 / 1 年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料 (R6.10~)  
(幸便搬送の方は〒料不要)

|   |         |      |
|---|---------|------|
| ① | 1 冊     | 180円 |
| ② | 2 冊~7 冊 | 210円 |
| ③ | 8 冊~20冊 | 430円 |

21冊以上は次の計算による。

21冊  $C + A = 610円 \times \text{月数}$   
 22冊~27冊  $C + B = 640円 \times \text{月数}$   
 28冊~40冊  $C \times 2 = 860円 \times \text{月数}$   
 50冊の場合  $C \times 3 = 1,290円 \times \text{月数}$

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1年前納のこと。

◎送金は次の何れかへ  
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心  
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会  
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分  
 誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室

福 原 曉 雲

野 島 桂 山

江 西 澄 翠

中 平 美 峰

発行人

福 原 曉 雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

発行所

龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八九) 四二一〇二四四

月例作品送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (088) 86518857